



定部金貳錢
郵税五厘
廣告五號十二
料字詰一行
日刊休
日曜大祭
日曜ノ翌
發行所 常盤
電話六三〇番

刊夕日六十二月一十

常盤論壇
流行音樂の考察と家庭音樂の提唱 (三) 明石 恭

琴の半音階調で基礎を造りその律、濫み、そのさびは頗るロマンチックで接觸の美的技巧を必要とする、あたりは遙かにピアノを凌駕するところがある、尺八また而りである、洋樂家の忠實なる僕に日本の大音樂家と自他共に許してゐる、人に山田といふ右の如き對照比較的論理を知らぬ馬鹿があるその手下にこんなうを

かけた大低能兒の前田といふ大馬鹿が日本樂器を何かの雜誌でけなしてゐた事がある日本樂器でも立派に完全な音樂の律を構成し演奏し得る限り立派な樂器として認むるといふ定理を知らない音樂家だ、風上におけるない金米糖だ崇敬する音樂家に洋樂から出發して來て日本樂器を愛好し、而も世に迫害され乍らも残念に日本樂と洋樂の漸衷に没頭して研究してゐる崇敬止まない人に本居長世氏がある、かつて報知新聞が震災救済で遺米したときの如きの陣容は、今で顧ると涙ぐましい。日本樂を基礎に置き洋

樂の剛と勇日本樂の粹と雅を調和せしめてピアノで尺八伴奏を打ち新しい行方を開き琴三味尺八ピアノでもつて童謡の伴奏をしてゐるフラフラな中途半端な外語で解りもしない發音で唄ふのが聲樂家であり音聲家であると心得てゐる聲樂家を排して純日本語の美しい詩の童謡である、それがこれだけ異國の人々には日本の洋樂家のこれ迄の演奏よりより歓迎され且つ日本の音樂家の標準を上げたことか誠に誇りに足るのである、

(つづく)

活版印刷の御用命を御願致します

明鮮美優 嚙叮速敏

所刷印日每警常
五三町橋長町平
(番〇三六話電)

余釀造元
酒鶴仙
石城郡平窪村
松吉屋本店
電話二四一番

加藤營業所
平町白銀町電話三二番

柳町七圓
櫻町十二圓
白銀町五十圓
醫院向

外務員募集
福島縣其榮無盡平代理店
現物賣買株式問屋
平町南町公會堂角電話三四四番

大谷保太郎
拾圓以上希望者本人來談を乞ふ

内科 小兒科 花柳病科 (需應院入)
藤沼醫院
平町紺屋町
電話五〇七番

萬年瓦
福島縣其榮無盡平代理店
電話三八

福島縣平町 鹽屋山崎本店
電話 營業部専用一〇番 一般用二七番
上野上車坂町四三二
東京支店
電話長淺草五七二八番
振替東京六八三二二番

德用袋入
新森永(茶)山城
百二十匁入 一圓五十錢
六十匁入 七十五錢
三十匁入 四十五錢

森永(ほう)宇治
百二十匁入 八十五錢
七十匁入 五十五錢
四十匁入 三十五錢

森永宇治茶袋入は、實質本位のお茶で最も徳用品で御座います。森永のお茶は、本場山城の理想工場で精製致しました、生粋宇治茶であり、また他には得られぬ香味を保有して居ります。

菓子店食料品店茶舗にあり
代理店 ヤトモツマ

今冬最新流行行
安ノイ澤山揃子
大谷洋品部
大谷時計店
平町三丁目電話九十番

柏傳の全刺子染料
柏屋染物店

冬服新荷着
御氣に召す洋服が
澤山揃ひました
紺黒サージス
ツチメルトン三ツ組
其他 立エリ上下
學生服豊富
警城平町二丁目
なかや洋服店
電話二〇三番

梅毒
淋病 婦人病 専門
包莖 疝門病
松村外科病部

